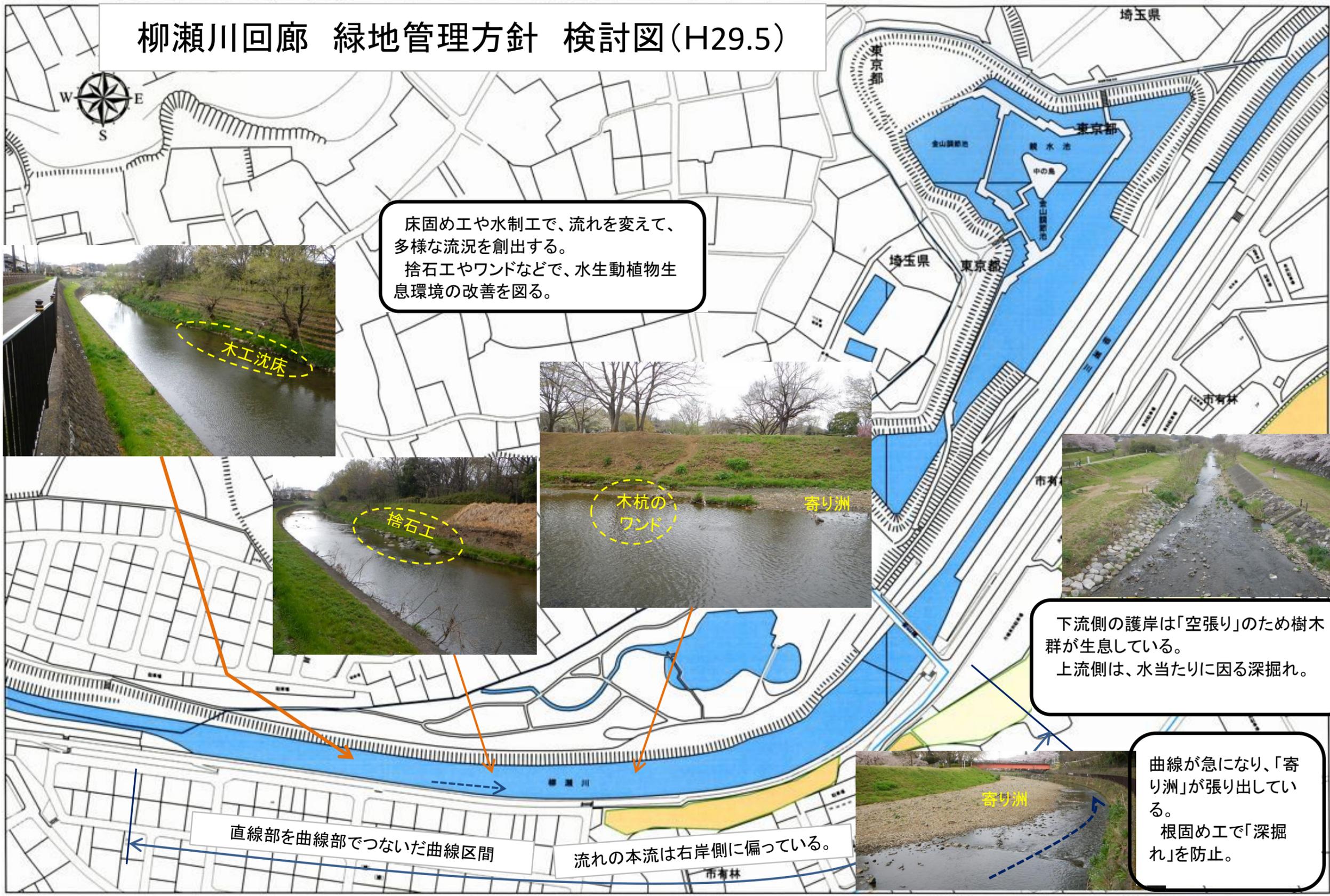


柳瀬川回廊 緑地管理方針 検討図(H29.5)



床固め工や水制工で、流れを変えて、
多様な流況を創出する。
捨石工やワンドなどで、水生動植物生
息環境の改善を図る。

下流側の護岸は「空張り」のため樹木
群が生息している。
上流側は、水当たりによる深掘れ。

曲線が急になり、「寄
り洲」が張り出してい
る。
根固め工で「深掘
れ」を防止。

直線部を曲線部でつないだ曲線区間

流れの本流は右岸側に偏っている。

木工沈床

捨石工

木杭の
ワンド

寄り洲

寄り洲

0 65 130 260メートル

縮尺 1/2500

柳瀬川回廊 緑地管理方針 検討図(H29.5)



下流側定規断面の護岸区間
低水路の川幅; 7.6mで「三面張り」
水生動植物の生息環境は劣る。



2017.9 台風9号の洪水後、新清瀬橋下流 (川の)

境橋上流区 低水路の川幅; 19.6 m
川幅が広いので、砂州ができる。
水生動植物の生息環境となる。



2017.9 台風9号の洪水後

砂州の植生化と水際線の形成(2013.11); 多様な流況への改善



境橋から上流

境橋の橋下

境橋の下流

縮尺 1/2500

柳瀬川回廊 緑地管理方針 検討図(H29.5)



2011.6 生きもの調査



左岸側の水際線; ツルヨシ等で植生が豊か。多孔性。
= 魚類・甲殻類・ヤゴが生息。



現況 2017.4



2011.4 床止施工は20093.

左岸側の護岸面; エノキ等の樹木と笹で被覆。
河道の流況; 多様で瀬と深み。
マルタ・オイカワ等の生

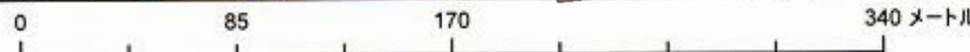


2017.2.24 施工中



左岸側の水際線; 台風9号の洪水で浸食。
下流側は旧護岸基礎露出、
上流側は植生の水際が流出。

左岸側の積みブロック護岸とブロック根固工で復旧。
; 植生の河岸面は消滅したが、根固工前面の流況復元は、今後の課題。



縮尺 1/2500